

航空地図で森林道評価

デジ田甲子園V 県研究所が報告



内閣総理大臣賞獲得を江崎禎英知事に報告する
臼田寿生主任専門研究員(左)＝県庁

デジタル技術を活用した地域活性化のアイデアを競う第4回「デジ田甲子園」の審査委員会選考枠で内閣総理大臣賞(優勝)を獲得した県森林研究所の藤下定幸所長と臼田寿生主任専門研究員が、県庁に江崎禎英知事を訪ね、研究成果や喜びを報告した。(稲葉亮)

デジ田甲子園は、企業や自治体などがデジタル技術

を活用して地域課題を解決する取り組みを内閣府が募集。今回は本選出場した55件の中からインターネット投票などを通じて企業部門と自治体部門、審査委員会選考枠でそれぞれ内閣総理大臣賞を決めた。

臼田研究員は、対象の研究成果となった、航空地図を活用して森林作業用道路の整備難易度や災害リスクを評価する方法を説明。江崎知事は「大変素晴らしい成果。他県にも広げてほしい」とたたえ、知事懇談会でも提案を検討する考えを明かした。

同研究所によると、すでに他県でも今回の技術の導入に関する問い合わせがあるといい、臼田研究員は「表彰式では全国展開の期待を求められた。責任を持って普及にも努めたい」と語った。

岐阜県森林研究所ホームページ掲載期限:令和8年4月9日

この記事は岐阜新聞社の許可を得て使用しています。